



2024 年 10 月 29 日

株式会社アドバンスト・メディア

セキュリティの高さが評価され、AI 音声認識 文字起こし支援アプリケーション「ScribeAssist」が、りそなグループ内で導入拡大 ～りそなグループの 13 社で活用。会議出席者と議事録作成時間が半減～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）が、議事録ソリューションプラットフォーム「VoXT One（ボクストワン）」にて提供している、国内シェア No.1[※]の AI 音声認識 AmiVoice を搭載した文字起こし支援アプリケーション「ScribeAssist（スクライプアシスト）」が、株式会社りそなホールディングス（本社：東京都江東区 以下、りそな HD）のグループ企業 13 社で活用されています。



りそな HD および傘下の各社では、セキュリティ管理の観点からクラウド型の議事録ソリューションの導入が難しい状況にあったため、議事録作成に時間がかかっており、関係者への議事録共有の迅速化が課題となっていました。

そのような中、りそな HD は、個人情報や非公開情報を含む会議でもセキュアな利用が可能なスタンドアローン型 議事録ソリューション「ScribeAssist」の導入を決定しました。

「ScribeAssist」は、りそな銀行などグループ 6 社で 2021 年から導入されています。セキュリティの高さや、業務効率化などの導入効果が認められ、この度、グループ 7 社が新たに導入を決定し、グループ内の利用を拡大しました。従来から導入している 6 社を含め、りそなグループ 13 社の全部署で「ScribeAssist」が活用されています。

りそな HD の経営会議においては、導入により、録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで行えるようになりました。議事録作成の負担を軽減し、会議の生産性向上を実現しています。さらに、関係者へテキストデータを即時に共有ができるようになった結果、会議関係者を必要最小限（約 10 名から約 5 名）に抑え、議事録完成までの時間も平均約 3 時間から約 1.5 時間に削減されています。

【りそな HD、コメント】

デジタル技術を活用した金融サービスの提供によるカスタマーサクセスの実現を目指す当社グループは、社内の既存業務を効率化し、価値創造に繋がる業務の比率を高め、更なる成長に向けた取り組みを加速しています。音声テキスト化の社内ニーズはますます高まっており、外部接続を伴わないセキュアな環境での実現は、今後の活用余地も大きいと考えています。スピーディな意思決定に寄与するツールとして、最大限に活用していきます

株式会社りそなホールディングス グループ戦略部 田代美帆子

アドバンスト・メディアは、今後も、AI 音声認識 AmiVoice を活用した議事録ソリューションの提供により、議事録作成に課題を抱える自治体や企業の業務効率化と働き方改革を支援してまいります。



りそな HD での活用の様子

【ScribeAssist 概要】

The screenshot displays the ScribeAssist application window. At the top, there are tabs for '設定' (Settings) and 'エディットモード' (Edit Mode). Below these are various controls including a microphone icon for voice recording, a '会議' (Meeting) button, and a '音声認識' (Voice Recognition) status bar. The main area shows a transcript of a meeting. The transcript is organized into a table with columns for 'タグ' (Tag), '発言時間' (Speaking Time), '発言者' (Speaker), and '発言内容' (Content). The tags include '議題' (Topic), '決定事項' (Decision), and others. The speakers listed are 鈴木 (Suzuki), 田中 (Tanaka), and 山田 (Yamada). The content of the transcript discusses the design of the ScribeAssist homepage and the need for a design refresh. At the bottom of the window, there is a timeline and a waveform visualization of the audio recording.

国内シェア No.1[※]の AI 音声認識 AmiVoice を搭載した複数の議事録ソリューションを一元化したプラットフォーム「VoXT One (ボクストワン)」にて提供している「ScribeAssist」は、オンライン/オフラインといった会議形態、Web 会議システムの種類を問わず使用できる、スタンドアローン型の文字起こし支援アプリケーションです。

リアルタイム認識・バッチ（音声ファイル）認識に対応しており、会議音声の録音、音声認識、テキストの編集、文字起こし内容の出力までをワンストップで行えます。

AI 話者識別機能やキーワード・タグ付け機能、リアルタイム字幕表示機能、議事録作成に特化したファシリテーションモードなど、会議での運用に適した機能を多数搭載しています。

なお、2024 年 9 月 9 日より旧製品名「AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)」から、新製品名「ScribeAssist」に変更しています。

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/service/scribeassist/>

【VoXT One 概要】

「VoXT One」は、議事録作成業務を多角的にサポートし効率化を実現する、国内シェア No.1[※]の AI 音声認識 AmiVoice を搭載した複数の議事録ソリューションを一元化した新プラットフォームです。1 つのアカウントで、スタンドアローン型の「ScribeAssist」とクラウド型の「ProVoXT (プロボクスト)」など、ユーザーの利用シーンに合わせて最適なソリューションの選択が可能です。さらに、GPT-4o を活用した要約生成や、音声入力ソリューションなど多彩な機能により、議事録作成業務の効率化を実現します。

<https://voxt-one.advanced-media.co.jp/>

※出展：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2024」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

【会社概要】＜株式会社アドバンスト・メディア＞

代 表 者：代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社：東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L：<https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立：1997 年 12 月

資 本 金：69 億 3031 万円 (18,392,724 株) (2024 年 3 月末現在)

事 業 内 容：
◆企業および企業内のユーザーや一般消費者へ AI 音声認識アミボイスをサービス利用の形で提供する「サービス事業」
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆AI 音声認識アミボイスを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：ecarlate「音声認識市場動向 2024」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : press@advanced-media.co.jp ・ TEL : 03-5958-1307	VoXT（ボクスト）事業部 ・ お問い合わせフォーム : https://voxt-one.advanced-media.co.jp/inquiry/